

6月9日

### 街をきれいに 町内の郵便局員が地域の清掃活動を実施

親子で参加する局員も



弟子屈郵便局、川湯郵便局、屈斜路郵便局、美留和郵便局の局員による「クリーンアップ作戦（ごみ拾い活動）」が6月9日、摩周観光文化センターで行われました。8月に開催される「星空の街・あおぞらの街」全国大会in弟子屈町の開催にあわせ、会場として使用される同センター周辺の清掃活動を実施。局員やその家族など24人が参加。駐車場や国道沿いの歩道などを丁寧に清掃していました。参加した局員は「全国から来るお客さんに気持ちよく使ってもらえれば」と話していました。

## カメラスケッチ



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐ反映させます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

6月19日

### 命の大切さと交通事故の防止を伝える 「ひまわりの絆プロジェクト」植栽式を開催

ひまわり種を花壇に植え



「ひまわりの絆プロジェクト」植栽式が6月19日、弟子屈警察署で行われ、弟子屈小学校(中原英雄校長)4年生、26人が参加しました。このプロジェクトは、交通事故で亡くなった4歳の男の子が育てていたひまわりの種を、多くの場所で開花させ「生きていた証を残したい」と願うご遺族への支援とともに、命の大切さや交通事故防止を訴えていくものです。ひまわりの種を同警察署と同小学校の花壇に植えた子どもたちは「命を大事にし、交通事故に遭わないよう気をつけたい」と話していました。今後、弟子屈警察署では、育てた種で、町内企業などにこの活動を広めていく予定です。

6月18日

### 「星空の街・あおぞらの街」弟子屈大会テーマが決定 未来へつなごう摩周の水と星と命の煌めきを

前田さん(左から2人目)、中嶋さん(左から3人目)



「星空の街・あおぞらの街」全国協議会(会長・徳永町長)主催の「星空の街・あおぞらの街」全国大会in弟子屈町の大会テーマとフォトコンテストの表彰式が6月18日、町役場で行われました。大会テーマでは応募総数58作品の中から、町内在住の前田 章子さんの「未来につなごう摩周の水と星と命の煌めきを」が最優秀賞を受賞。フォトコンテストでは、応募総数230作品の中から摩周湖の夜空を撮影した標茶町在住の中嶋 勝年さんの「宙の彩り」が最優秀賞を受賞しました。8月3日に行われる大会は、同テーマのもと、記念講演や星空観察の調査報告などが行われます。

6月24日

### クラシック音楽をもっと身近に感じて クラシック演奏会を開催 | 川湯小学校

演奏に聴き入る子どもたち



文化庁の芸術家派遣事業の一環として、川湯小学校(中岡美緒校長)で6月24日、サロンオーケストラが開催され、川湯小学校、川湯中学校、美留和小学校の全校生徒と奥春別小学校の5・6年生の89人が生の演奏などを観賞しました。演奏者は釧路市出身のチェロ演奏者、白佐武史さんをはじめとする「サロンオーケストラ・エイト」の8人。指揮者がいない編成で、チャイコフスキーの組曲「白鳥の湖」など計9曲を披露。楽器の紹介や指揮棒を振る体験などもあり、川湯小学校の校歌を演奏に合わせて歌いました。指揮棒を振るった児童は「とても楽しかった」と笑顔で話していました。

6月19日

### 未来の横綱を応援しよう 大嶽親方、納谷幸之介さんが役場を表敬訪問

未来の横綱を応援



大相撲の大嶽親方ご夫妻と名誉町民の故納谷幸喜氏(第48代横綱大鵬)の三女 美絵子さん、孫の納谷幸之介さんが6月19日、役場を表敬訪問され、徳永町長や竹森町商工会長などの関係者、職場体験中の弟子屈高校2年生の3人、役場職員などが出迎えました。納谷幸之介さんは、5月場所で幕下東22枚目6勝1敗の成績を残し、関取と呼ばれる十両昇進まであとわずかとなっています。関係者は、大鵬の孫の幸之介さんを祖父の故郷から応援していくことを計画しています。

## 北海道警察官募集中!

「誰かの笑顔を守る。そんな仕事がある。」

- ▶試験日程
  - 受付期間/7月1日(月)~8月20日(火)
  - 1次試験(教養試験) 9月16日(月・祝)
  - 2次試験(面接・体力試験) 10月中旬~11月上旬
- ※詳細は北海道警察HPへ。質問などは弟子屈警察署・北海道警察採用センター ☎0120-860-314まで。



## 水難防止のために

- 水辺で遊ぶ子どもの近くから離れないようにしましょう。
- 体調不良時や飲酒後の遊泳は危険!
- 水上オートバイで遊泳区域に入らない!
- 釣りをするときには救命胴衣を着用し、安全な場所で!



## 居眠り運転は死への直行便

- 長時間の運転が増える時期です
- 休暇を利用した旅行などで運転する機会が増えますが、疲れや眠気を感じる状態で運転すると非常に危険です。
- 疲れや眠気を感じたら、直ちに休憩しましょう。



# 摩周一一〇番

弟子屈警察署  
所在地交番 ☎482-2110  
川湯駐在所 ☎483-2151

## 自動車運転免許の更新講習

- 期日/8月21日(水) 場所/町公民館
  - ▶優良講習/11時30分 ▶一般講習/13時
  - ▶違反講習/9時 ▶初回講習/14時30分
- ※講習は、警察署で免許更新の手続きを済ませた後に受講してください。

弟子屈警察署ホームページ <http://www.teshikaga-syo.police.pref.hokkaido.jp>

## 地域安全ニュース

令和元年8月発行 第263号  
弟子屈地区防犯協会連合会  
☎482-2110(弟子屈警察署内)



## 警察官を名乗る不審電話が多発!

道内で、警察官を名乗る男から「詐欺グループを捕まえたが、犯人が使っていた名簿の中にあなたの名前が載っていた」という電話が多発し、通帳の提示を求めてきたり、預金額を聞き出そうとしたりするものもありました。

過去には、このような電話の後、金融庁職員などを名乗る犯人が来訪し「新しいキャッシュカードと取り替える」と言われ、キャッシュカードをだまし取られる被害も多数発生しています。

相手が警察官等を名乗っていても安易にカードを預けたり、暗証番号を教えたりしないようにしてください。



## 「電子マネーを買って支払って」は詐欺!



「利用料金が未納」というメールや、「民事訴訟最終通告書」などというはがきや封書は届いていませんか?このメールや郵便物は架空請求詐欺です。文面に記載されている電話番号に電話をすると、詐欺の犯人から、コンビニエンスストアなどで「電子マネー」を買って支払うよう誘導されます。

「電子マネーを買って支払って」と言われたら詐欺です。この言葉を聞いたら、まずはご家族に相談してください。

**7月8日**  
**みんなで住みよいまちづくりを  
 社会を明るくする運動の街頭啓発**



町内のスーパードで啓発  
 社会を明るくする運動強調月間の7月8日、保護司会や更生保護女性会などで組織する委員会(委員長・徳永町長)の皆さんによるさまざまな啓発活動が行われました。  
 Aコープ弟子屈とフクハラ摩周店前では買い物客にメモ帳などを手渡し、住みよいまちづくりへの理解と協力を呼び掛けました。また、町内小・中学校を訪問し、子どもたちへノートやペンを贈るなどの啓発活動を行いました。

**7月6～7日**  
**弟子屈の魅力にふれて  
 100km歩こうよ♪大会in摩周・屈斜路2019**



自然と食事を満喫しながら  
 100km歩こうよ♪大会in摩周・屈斜路2019(同実行委員会主催・松山裕一実行委員長)が、7月6～7日に開催されました。歩くコースは川湯温泉を出発し、砂湯・コタンを超えて、道の駅摩周温泉を通過、900草原へ行き、さらに摩周湖へ登り、川湯温泉へ戻ってゴールする全長約85キロ。全国から12歳から73歳までの約170人が大会出場とサポートスタッフとして参加。弟子屈の景色や、休憩所での地元の食事などを楽しみながら歩きました。今年もリアル100キロコースが設定され、25人が完歩しました。

**6月25日**  
**援農への思いをつなぐ  
 「援農の碑」記念式を開催**



感謝を込めて斉唱  
 太平洋戦争中の1945(昭和20)年、北海道援農勤労報国隊として本町に派遣された岩手県久慈農林学校(現久慈東高校)の生徒をたえる「援農の碑」記念式が6月25日、摩周観光文化センター敷地内にある同碑前でられました。  
 同碑は、生徒たちの功労を忘れず感謝していこうと1989年6月25日に建立。同碑前での式典は、関係者で組織する「6・25会」が中心となって毎年6月25日に行っています。先人たちが愛した「北上夜曲」に思いを込めて、参列者の斉唱が響きました。今年は関係者12人が出席し、生徒たちの功労や苦勞に思いをはせました。

**カメラスケッチ**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけつけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

**7月12～13日**  
**地域の魅力を体感  
 夏のふるさと体験学習 | 和琴小**



カメラでふるさとを体験  
 和琴小学校(齋藤超校長)で7月12・13日の2日間、夏のふるさとを学ぶ、体験学習が行われました。  
 12日には、児童や教員など10人が屈斜路湖の和琴半島でカヌーを体験。地元のカヌーガイドの方の指導で操作を学び、和琴半島沖を周遊しました。日が落ちてからは、曇り空のため星空学習を屋内で行いました。  
 13日には、メジュール牧場で鞍を装着するところから乗馬を体験。夏のふるさととのさまざまな体験を通し、地域の魅力をあらためて感じているようでした。

**7月11日**  
**悲惨な事故を防ごう  
 摩周観光文化センター前で旗の波啓発活動**



啓発品で交通安全を呼びかけ  
 交通安全を呼びかける旗の波啓発活動が7月11日、摩周観光文化センター前で行われました。この活動は、夏の交通安全運動に合わせて取り組んでいるもので、弟子屈町交通安全運動推進協議会と弟子屈交通安全協会、弟子屈警察署、弟子屈町交通安全指導委員会、町、弟子屈町女性ドライバークラブの皆さんなど約80人が参加。沿道に並び交通安全などと書かれた旗を掲げて交通事故防止を呼びかけたほか、警察署の協力の下、通行車両のドライバーに地元のお菓子や啓発品の配布を行いました。

**6月28日**  
**「星空の街・あおぞらの街」全国大会プレイベント  
 デジカメ星空診断講座を開催**



屋内での講座を行う中島さん  
 町主催によるデジカメ星空診断講座が6月28日、摩周観光文化センターで開催されました。この講座は8月に行われる「星空の街・あおぞらの街」全国大会in弟子屈町のプレイベントとして行われたもの。講師にりくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)の中島克仁さんを招き、デジタル一眼レフカメラの設定方法や夜空の明るさを正確に撮影するコツを学びました。  
 中島さんは「弟子屈の夜空の明るさは、天の川が見えやすいという21等級以上。この等級は全道でも少ない。すばらしい弟子屈の空をどんどんPRして欲しい」と話していました。

**6月26日**  
**摩周湖の保全と利活用の推進  
 令和元年度摩周湖環境保全連絡協議会**



あいさつする徳永会長  
 摩周湖環境保全連絡協議会(会長・徳永町長)の令和元年度総会が6月26日、摩周観光文化センターで行われました。  
 同協議会は、摩周湖の環境保全を目的とした湖水環境モニタリング調査の実施とエコツーリズムの推進や周辺地域の発展を目指し、昨年設立されました。総会では、平成30年度事業を報告し、事業決算を承認。令和元年度の事業計画では、摩周湖の保全と利活用にかかるルール作成と、周知・啓蒙活動のため、摩周湖とのふれあい方のルールを掲載するPR映像などを作成。クラウドファンディングを活用し、協議会に参加する5町(弟子屈・清里・別海・中標津・標茶)の特産品を返礼品にすることを検討します。

**7月16日**  
**弟子屈の魅力再発見！  
 児童が調べた町の魅力を発表 | 弟子屈小**



5つの班それぞれが発表  
 弟子屈小学校(中原英雄校長)の4年生児童25人が7月16日、弟子屈の魅力伝える壁新聞の発表を行いました。  
 同校では総合の学習の時間に摩周湖や硫黄山・屈斜路湖といった町内の魅力あるスポットについて学習し、それを伝える壁新聞を作成。児童は実際に各地に足をのび、訪れた観光客の方にインタビューするなどして、その地の歴史や魅力について調査。保護者の方もご覧になる中、それぞれの班が工夫を凝らして発表しました。  
 発表会には役場職員2人も招かれ、児童の発表を参観。最後に児童の学習テーマに沿った講演会も行われました。

**7月16日**  
**災害時の消防活動を強化  
 水難救助艇運用開始式を開催**



新たに導入されたゴムボート  
 水難救助艇運用開始式が7月16日、弟子屈消防署で関係者など9人が参加して行われました。  
 運用していたゴムボートの経年劣化などから、新たに導入されたもので、東日本大震災の時などにも運用された同型の10人乗りのゴムボートを導入。寒冷地での運用も可能で、冬の屈斜路湖などでも使用できます。  
 釧路北部消防事務組合長・徳永町長は「夏は屈斜路湖でのレジャーなど、水辺での観光客が増加する。緊急時には速やかに運用したい」と話していました。

**7月6日**  
**水の大切さを考える契機に  
 水辺で乾杯！摩周大橋でミズベリグ弟子屈**



水辺で乾杯！  
 「ミズベリグプロジェクト」の「水辺で乾杯」が7月6日、摩周大橋で行われました。  
 この取り組みでは、水辺に親しみ、水の大切さを考える機会をつくろうと、国土交通省などが中心となってさまざまな活動を行っています。水辺で乾杯は、七夕の午後7時7分に各地で機会を共有しようといわれたもの。  
 今回は、商工会青年部主催のピアガーデンと合わせて1日早く開催。町民の方や観光客のほか、釧路開発建設部や役場の職員、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイのメンバーなど約80人が集まり、大きな声で乾杯しました。

**7月4日**  
**協力や感謝することの大切さを学ぶ  
 人権啓発活動「人権の花運動」を実施**



丁寧に花を植える園児たち  
 弟子屈町人権擁護委員、釧路地方法務局擁護課、釧路人権擁護委員協議会の協力による「人権の花運動」が7月4日、認定こども園ましゅうで行われました。この取り組みは花の苗を協力して植えることを通し、協力や感謝することの大切さを学び、やさしい思いやりの心を体得させ人権思想を育むために行われたもの。屋内では、全園児で、人権についての紙芝居を鑑賞。  
 年長のぞう組の30人は屋外に移動し、プランターに町が用意した150株のペチュニアを植えました。今後は、玄関の前などに置かれ、園児たちで水やりなどを行います。